

5-1 開いている棚割モデルの帳票を作成する (商品集計表)

概要

商品集計表では、開いている棚割モデルをもとに陳列商品ごとの売上数量、売上金額、回転率やABC分析、スペース構成比など、様々な分析結果を一覧表形式で作成できます。

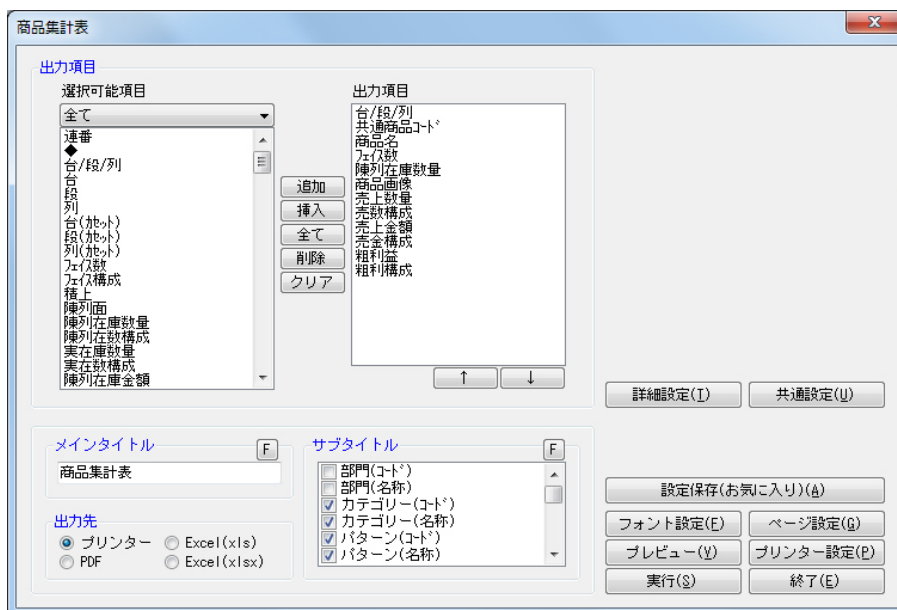
最終行には各項目の合計値が出力されるため、棚割モデル全体の集計結果を確認できます。

台/段/列	共通商品コード	商品名称	台/段/列 在庫数	台/段/列 売上数量	台/段/列 売上金額	台/段/列 回転率	台/段/列 スペース構成比
1/1/1	48010200044	コカコーラ コカ・コーラ ペット 500ml	2,85	1,45	1,11	0	102.17
1/1/1	48010204474	コカコーラ コカ・コーラ PET 500ml	2,85	5,53	2,30	1	393.33
1/2/1	48010207835	ファンタ オレンジ PET 500ml	1,89	1,20	1,20	0	102.00
1/2/1	48010207879	ファンタ グレープ PET 500ml	2,85	2,25	2,25	1	325.45
1/3/1	48010200009	コカコーラ アクエリアス ペット 500ml	3,17	1,85	1,25	0	102.00

起動方法



操作方法



1. [棚割操作] - [開く] より該当の棚割モデルを開きます。
2. [帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。
3. 「棚割帳票」画面の [基本] タブより「商品集計表」を選択して、[選択] をクリックします。
4. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力した項目を選択して [追加] をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。
5. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
6. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

売上情報を帳票に反映させる

売上情報を棚割モデルに紐づけると、売上情報を帳票に反映させることができます。(詳細は7-1を参照してください。)

1. [棚割操作] - [分析設定] をクリックします。
2. 「売上情報 (分析)」のチェックボックスを有効にします。
3. 「売上情報選択」より店舗または「パターン集計」、「全店集計」から紐づけたい売上情報を選択します。
4. 分析期間を設定します。(未設定の場合は全期間の合計値で分析されます)
5. [設定] をクリックします。

陳列されていない商品も表示させる

棚割モデルに陳列されていない商品も出力できるため、取扱い漏れの商品がないか確認できます。

1. [棚割操作] - [分析設定] をクリックします。
2. 「売上情報 (分析)」の[詳細設定] をクリックします。
3. [売上情報のみ商品] より「売上情報のみの商品も分析対象にする」を有効にします。
4. 表示させたい分類を一覧より選択します。([陳列商品の商品分類を選択] をクリックすると、自動選択されます)
5. [設定] をクリックします。
6. 帳票の出力項目に「◆ (既陳列)」を含めると、棚割モデル内の商品の有無を確認できます。

■ 特記事項

- 出力後に[終了] や [×] ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると設定内容を保存します。
- [詳細設定] より出力時の細かな設定ができます。

印刷時、1つの明細出力に使用する行数を設定する	「明細使用行数 (画像/バーコード出力時は無視)」で行数を選択します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」をそれぞれ選択できます。

5-1 開いている棚割モデルの帳票を作成する (商品分類集計表)

概要

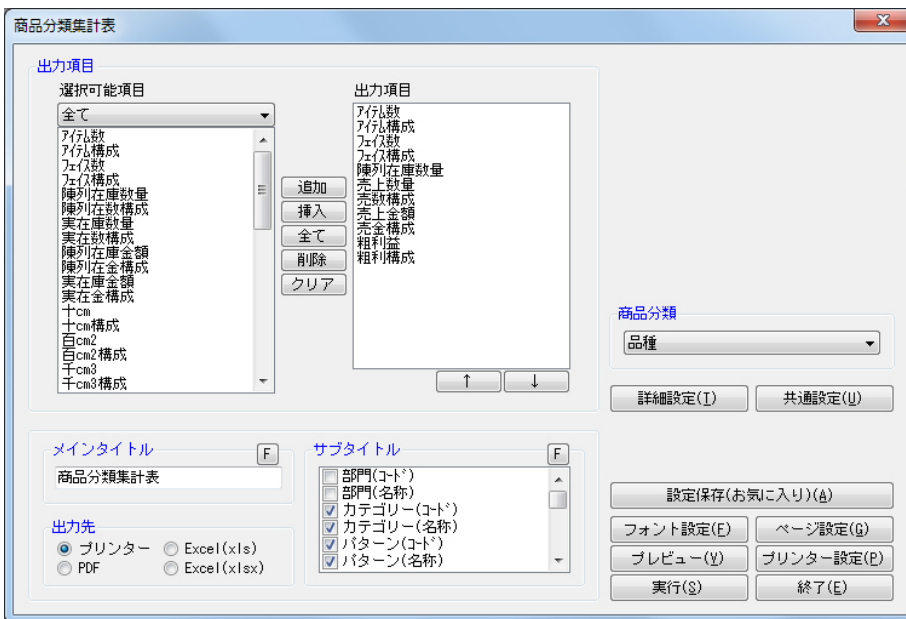
商品分類集計表では、開いている棚割モデルの陳列商品の分析結果を、品種やメーカーといった分類単位で出力できます。棚割モデル内で、どの品種がよく売れているのか、どのメーカーが売上に貢献しているのかなどを確認できます。

品種	7月1日 PPL在庫数	7月31日 PPL在庫数	陳列在庫金額	陳列在庫構成	売上数量 売上金額	売上構成 売上金額	売数ABC 売金ABC
コーラ	7 11.86	20F 11.26	¥40,808	9.89	24,780 ¥4,426,549	18.59 20.40	A A
サイダー・炭酸フレーバー	8 13.56	24F 12.23	¥54,400	13.16	20,719 ¥1,894,590	11.24 8.61	B B
紅茶ドリンク	15 25.42	64F 24.90	¥102,000	24.71	37,760 ¥4,892,024	20.67 22.24	A A
日本茶・喫茶ドリンク	14 22.70	54F 21.01	¥92,800	22.48	41,563 ¥5,205,622	22.75 23.60	A A
中国茶・その他お茶	2 3.39	7F 2.72	¥8,400	2.00	12,720 ¥1,722,496	6.96 7.84	B B
ミネラルウォーター	4 6.70	19F 7.29	¥30,400	7.36	10,334 ¥954,820	5.68 4.11	C C
スポーツドリンク	8 13.56	43F 16.73	¥84,400	15.90	23,720 ¥2,646,356	12.98 12.03	A A
機能性ドリンク	1 1.69	7F 2.72	¥19,600	4.75	1,200 ¥227,600	0.66 1.00	C C
合計	59	257F	¥412,808		182,724 ¥21,992,267		

起動方法



操作方法



1. [棚割操作] - [開く] より該当の棚割モデルを開きます。
2. [帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。
3. 「棚割帳票」画面の[基本]タブより「商品分類集計表」を選択して、[選択] をクリックします。
4. 「商品分類」のプルダウンメニューから出力の基準にしたい分類を選択します。
5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して [追加] をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。
6. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

売上情報を帳票に反映させる

売上情報を棚割モデルに紐づけると、売上情報を帳票に反映させることができます。（詳細は7-1を参照してください。）

1. 「棚割操作」－「分析設定」をクリックします。
2. 「売上情報（分析）」のチェックボックスを有効にします。
3. 「売上情報選択」より店舗または「パターン集計」、「全店集計」から紐づけたい売上情報を選択します。
4. 分析期間を設定します。（未設定の場合は全期間の合計値で分析されます）
5. 「設定」をクリックします。

陳列されていない商品も表示させる

棚割モデルに陳列されていない商品も出力できるため、取扱い漏れの商品がないか確認できます。

1. 「棚割操作」－「分析設定」をクリックします。
2. 「売上情報（分析）」の「詳細設定」をクリックします。
3. 「売上情報のみ商品」より「売上情報のみの商品も分析対象にする」を有効にします。
4. 表示させたい分類を一覧より選択します。（「陳列商品の商品分類を選択」をクリックすると、自動選択されます）
5. 「設定」をクリックします。

■ 特記事項

- 出力後に「終了」や「×」ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると設定内容を保存します。
- 「詳細設定」より出力時の細かな設定ができます。

印刷時、1つの明細出力に使用する行数を設定する	「明細使用行数（画像/バーコード出力時は無視）」で行数を選択します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」を選択できます。

5-1 開いている棚割モデルの帳票を作成する (クロス集計表)

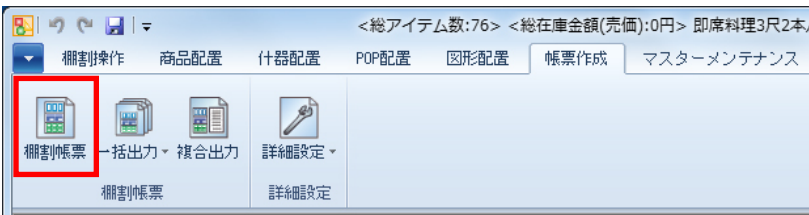
概要

クロス集計表では、開いている棚割モデルの陳列商品に2軸の分類を掛け合わせて分析した結果を一覧表形式で作成します。棚割全体でみた時の分析結果と、選択した分類内でみた時の分析結果を同時に確認可能です。

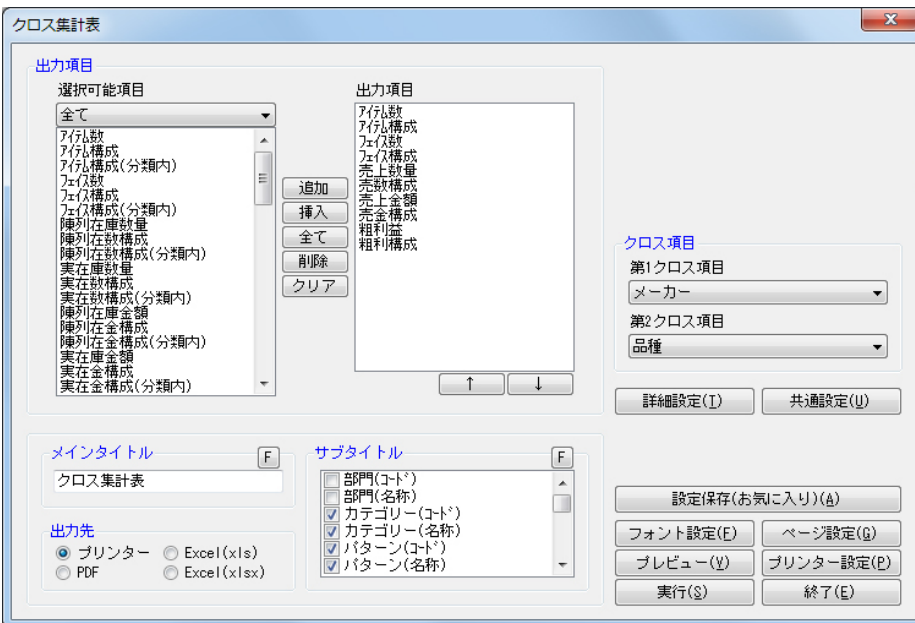
クロス集計表

品種/サイズ	アイテム数	アイテム構成	売上数量	売価
1. コーヒー	3	5-28	17	8-83
1-500~999ml	2	1-801	12	4-72
2-1000~1999ml	1	12-28	5	11-60
小計	7	12-28	29	11-48
2. サイダー・炭酸プレーパー	8	14-04	34	13-39
1-500~999ml	8	14-04	34	13-39
小計	8	14-04	34	13-39
3. 紅茶ドリンク	4	7-02	17	8-83
1-0~499ml	4	7-02	17	8-83
2-500~999ml	0	14-04	0	12-28
3-1000~1999ml	0	1-75	0	1-57
小計	4	7-02	17	8-83
4. 日本茶・麦茶ドリンク	13	22-81	54	21-29
1-0~499ml	3	5-28	14	15-51
1-500~999ml	10	10-39	37	12-21
2-1000~1499ml	1	1-75	2	9-78
2-2000ml~	3	5-28	9	4-28
小計	13	22-81	54	21-29
5. プレンド茶	3	5-28	13	9-12
1-2000ml~	3	5-28	13	9-12
小計	3	5-28	13	9-12

起動方法



操作方法



1. 「棚割操作」 - 「開く」より該当の棚割モデルを開きます。
2. 「帳票作成」 - 「棚割帳票」をクリックします。
3. 「棚割帳票」画面の「基本」タブより「クロス集計表」を選択して、「選択」をクリックします。
4. 「クロス項目」で第1クロス項目、第2クロス項目を選択します。
5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して「追加」をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。
6. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して「実行」をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は「プレビュー」をクリックします。

■ 特記事項

- 出力後に [終了] や [×] ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると設定内容を保存します。
- [詳細設定] より出力時の細かな設定ができます。

印刷時、1つの明細出力に使用する行数を設定する	「明細使用行数 (画像/バーコード出力時は無視)」で行数を選択します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」を選択できます。
第2クロス項目で「商品」選択時の出力項目を設定する	出力したい項目を選択します。

5-1 開いている棚割モデルの帳票を作成する (クロス ABC 集計表)

概要

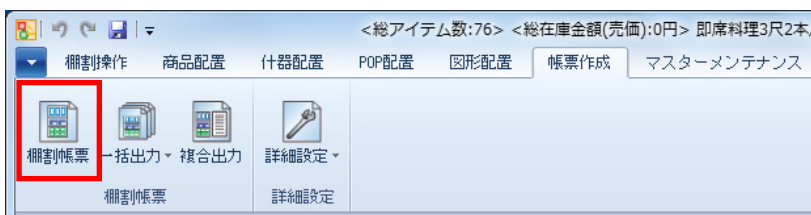
クロス ABC 集計表では開いている棚割モデルの陳列商品を、「売上数量と売上金額」、「粗利と売上金額」など、2つの切り口から ABC 分析を同時に行ない、結果をマトリクス形式で出力できます。

縦軸と横軸の交差した個所がその商品の位置取りとなるため、棚割全体のバランスもよくわかります。

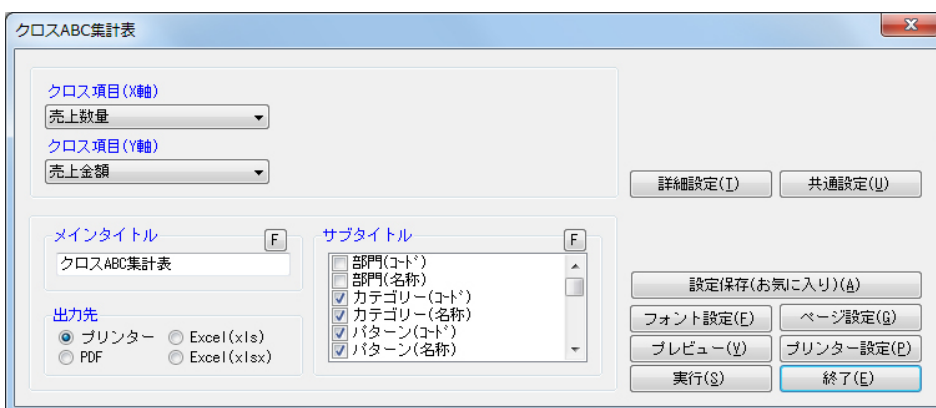
クロスABC集計表

商品名	売上数量	売上金額	ABC
商品A	100	1000	A
商品B	200	2000	B
商品C	300	3000	A
商品D	400	4000	B
商品E	500	5000	A
商品F	600	6000	B
商品G	700	7000	A
商品H	800	8000	B
商品I	900	9000	A
商品J	1000	10000	B

起動方法



操作方法



1. [棚割操作] - [開く] より該当の棚割モデルを開きます。
2. [帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。
3. 「棚割帳票」画面の [基本] タブより「クロス ABC 集計表」を選択して、[選択] をクリックします。
4. クロス項目 (X 軸)、クロス項目 (Y 軸) をそれぞれ選択します。
5. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
6. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

売上情報を帳票に反映させる

売上情報を棚割モデルに紐づけると、売上情報を帳票に反映させることができます。(詳細は7-1を参照してください。)

1. [棚割操作] - [分析設定] をクリックします。
2. 「売上情報 (分析)」のチェックボックスを有効にします。
3. 「売上情報選択」より店舗または「パターン集計」、「全店集計」から紐づけたい売上情報を選択します。
4. 分析期間を設定します。(未設定の場合は全期間の合計値で分析されます)
5. [設定] をクリックします。

陳列されていない商品も表示させる

棚割モデルに陳列されていない商品も出力できるため、取扱い漏れの商品がないか確認できます。

1. [棚割操作] - [分析設定] をクリックします。
2. 「売上情報 (分析)」の [詳細設定] をクリックします。
3. [売上情報のみ商品] より「売上情報のみの商品も分析対象にする」を有効にします。
4. 表示させたい分類を一覧より選択します。([陳列商品の商品分類を選択] をクリックすると、自動選択されます)
5. [設定] をクリックします。
[詳細設定] 内の「オプション設定」で「陳列商品に◆記号を付加する」を有効にすると、棚割モデル内の商品の有無を確認できます。

■ 特記事項

- 出力後に [終了] や [×] ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると設定内容を保存します。
- [詳細設定] より出力時の細かな設定ができます。

表示するコードの種類を選択する	「出力項目 (コード)」より共通商品コードかプライベートコードを選択します。
表示する名称の種類を選択する	「出力項目 (名称)」より商品名か商品カナ名、短縮品名を選択します。

5-1 開いている棚割モデルの帳票を作成する (台別集計表)

概要

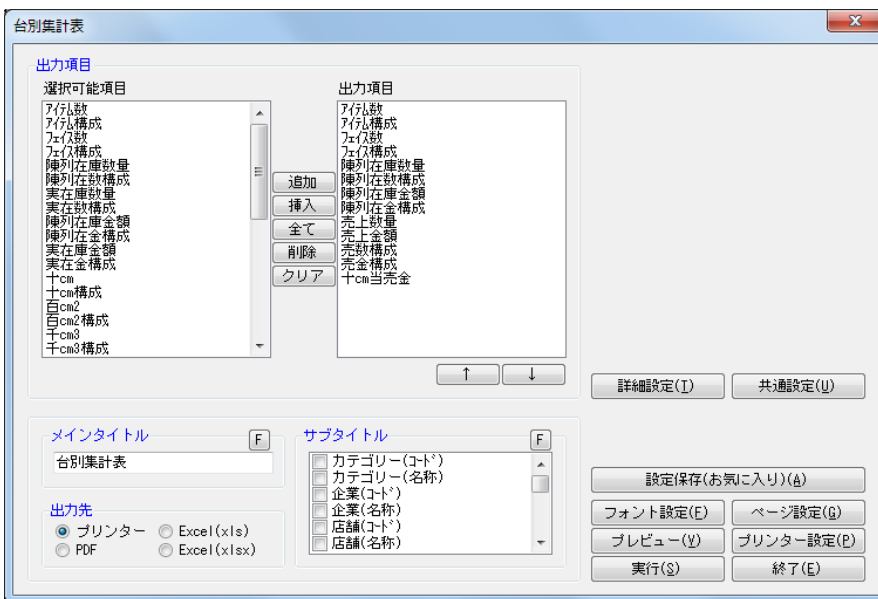
棚割モデルに設置している台ごとの売上数量や金額などの集計結果を一覧表形式で出力できます。陳列構成比や売上構成比を台単位でみることができ、アイテム数のチェックや売上貢献度を確認できます。

台	アイテム数	アイテム構成	陳列在庫数量	陳列在庫構成	売上数量	売数構成	売上金額	売上構成
1	15	25.00	240	27.60	1,032,277	41.96	¥132,207,381	40.05
2	12	20.00	241	27.70	875,664	34.27	¥109,845,190	33.98
3	16	26.67	264	29.96	473,739	17.76	¥72,815,674	21.83
4	17	28.33	272	29.75	115,055	4.31	¥16,913,472	5.06
合計	60		1,017		2,667,886		¥332,884,228	

起動方法



操作方法



1. [棚割操作] - [開く] より該当の棚割モデルを開きます。
2. [帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。
3. 「棚割帳票」画面の[基本]タブより「台別集計表」を選択して、[選択] をクリックします。
4. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力した項目を選択して [追加] をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。
5. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
6. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

売上情報を帳票に反映させる

売上情報を棚割モデルに紐づけると、売上情報を帳票に反映させることができます。(詳細は7-1を参照してください。)

1. [棚割操作] - [分析設定] をクリックします。
2. 「売上情報 (分析)」のチェックボックスを有効にします。
3. 「売上情報選択」より店舗または「パターン集計」、「全店集計」から紐づけたい売上情報を選択します。
4. 分析期間を設定します。(未設定の場合は全期間の合計値で分析されます)
5. [設定] をクリックします。

■ 特記事項

- 出力後に[終了]や[×]ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい]を選択すると設定内容を保存します。

5-2 棚割編集画面を出力する（棚割を3Dで出力する）

概要

作成した棚割モデルを平面ではなく3Dで表示し、確認することができます。

設定画面上で什器の配置も可能なため、L字型やコの字型に什器を配置してより立体的でリアルな売場再現が可能です。

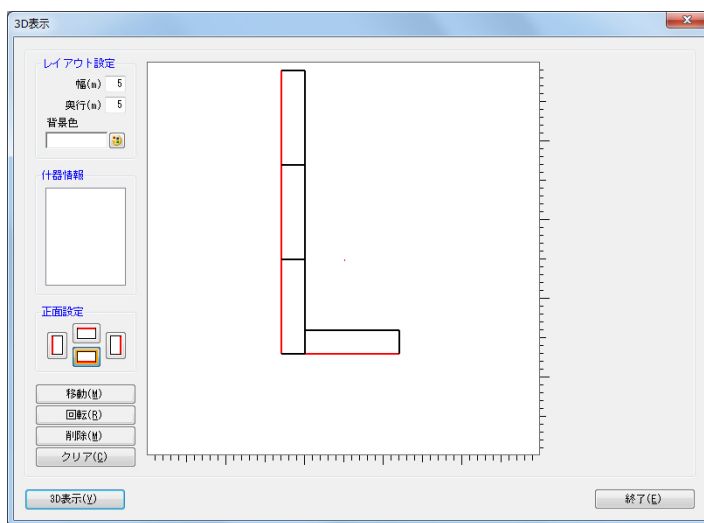
起動方法



操作方法

3D画面を表示する

1. [棚割操作] - [開く] より該当の棚割モデルを開きます。
2. [棚割操作] - [3D表示] をクリックします。
3. 「3D表示」画面の [3D表示] をクリックします。

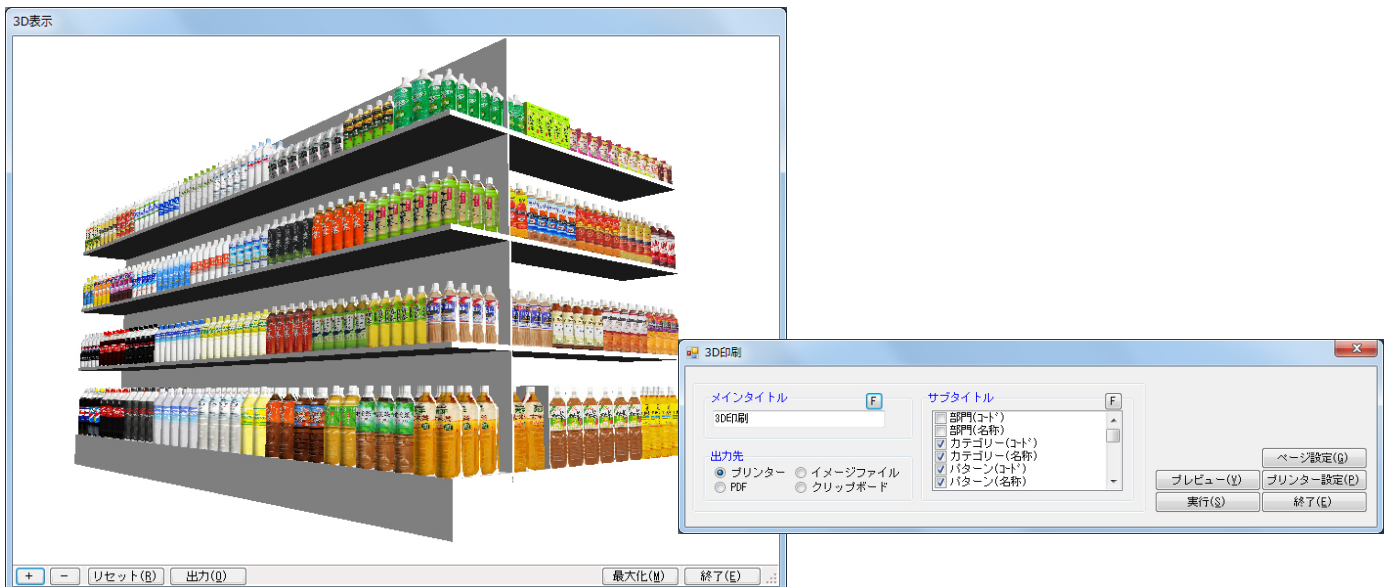


什器のレイアウトを配置する

1. 「レイアウト設定」でフロアのサイズ（幅/奥行）を指定します。背景色を色設定ボタンから設定できます。
2. 「正面設定」で什器の正面の向きを設定します。赤い辺が正面です。
3. 什器を選択します。選択した棚割モデルの什器台数が表示されています。
4. フロアにマウスを移動し、配置したい場所でクリックします。フロア内の赤い点が中央を示しています。什器を配置後に変更することができます。

[移動] ボタン	フロア内に設置した什器を移動できます。
[回転] ボタン	フロア内に設置した什器の角度を変更できます。 什器をクリック後、什器の角に表示される青丸をクリックします。 マウスを移動し、良い角度で再度クリックします。
[削除] ボタン	フロア内に設置した任意の什器を削除します。
[クリア] ボタン	フロア内に設置した什器をすべて削除します。

5. 全台の設置完了後、[3D表示] をクリックします。



3D 画面を出力する

- 「3D 表示」画面上でクリックすると、マウスカーソルが矢印から十字に変わります。確認したい向きを自由に設定することができます。
- 表示画面を拡大、縮小することができます。

[+] ボタン	棚を手前に拡大表示します。
[-] ボタン	棚を奥に縮小表示します。
[リセット] ボタン	表示サイズと角度を初期値に戻します。
- 出力したい画面を調整して、[出力] をクリックします。
- 「3D 印刷」画面が表示します。タイトル (メイン/サブ) を設定します。
- 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

特記事項

- 3D 表示後に [終了] や [×] ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると次回も同様のレイアウト設定で表示します。
- 背板に任意の色を付けて出力したい、または背板そのものを出力したくない場合は、[什器配置] - [詳細設定] から設定が可能です。

5-2 棚割編集画面を出力する（棚割モデルを画面コピーで出力する）

概要

作成した棚割モデルの画面を、クリップ出力や画像ファイルとして出力できます。
棚割モデル画像を JPEG や BMP といった画像ファイルとして出力したい場合に活用できます。

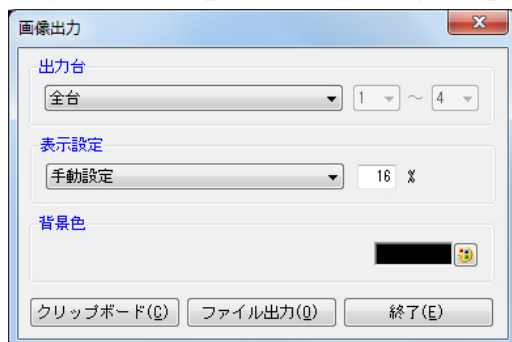
起動方法

棚割編集画面を出力する



操作方法

棚割編集画面の画面を出力できます。画像出力を行ないたい棚割モデルを [棚割操作] - [開く] で選択します。



クリップ画像としてファイルに貼り付ける

1. [棚割操作] - [画像出力] をクリックします。
2. 「画像出力」画面が表示されます。出力の設定を行ないます。

「出力台」	出力の対象にする台を全台、台別、台別（1 頁出力）、現在表示領域から選択します。
「表示設定」	出力時のサイズを手動設定、棚高基準、棚幅基準から設定します。 手動設定選択時はテキストボックスに数値を入力します。
「背景色」	棚の背景色を色設定ボタンで設定します。

3. [クリップボード] をクリックします。
4. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
5. 貼り付けたいソフト（Excel など）を立ち上げます。
6. 貼り付けたい場所で右クリックし、貼り付け（Excel の場合）などで貼り付けを行ないます。

画像ファイルとして出力する

1. [棚割操作] - [画像出力] をクリックします。
2. 「画像出力」画面が表示されます。出力の設定を行ないます。
3. [ファイル出力] をクリックします。
4. 「名前を付けて保存」画面で任意のファイル名を付けます。
ファイルの種類を BMP、JPEG（jpg）、EMF から選択できます。
5. 任意の場所を選択し、[保存] をクリックします。

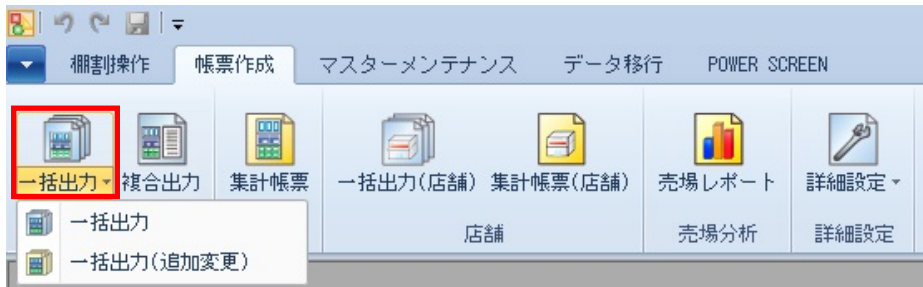
5-3 複数の棚割モデルの帳票を一括で作成する

概要

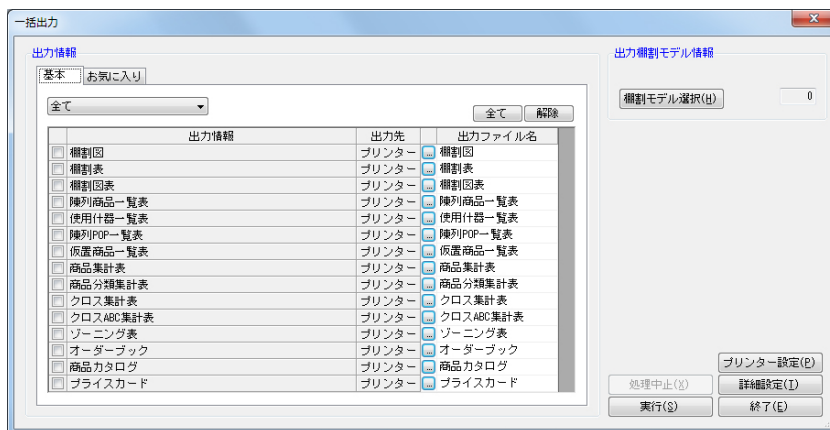
複数の棚割モデルの棚割帳票をまとめて出力することができます。棚割モデルを開いている場合は、複数種類の帳票をまとめて出力可能です。

「一括出力」ボタンは、棚割図や棚割表、陳列商品の一覧表をまとめて出力する「一括出力」と、棚割モデル同士を比較して、追加とカットの商品の一覧表などをまとめて出力する「一括出力（追加変更）」に分かれています。

起動方法



操作方法



一括出力

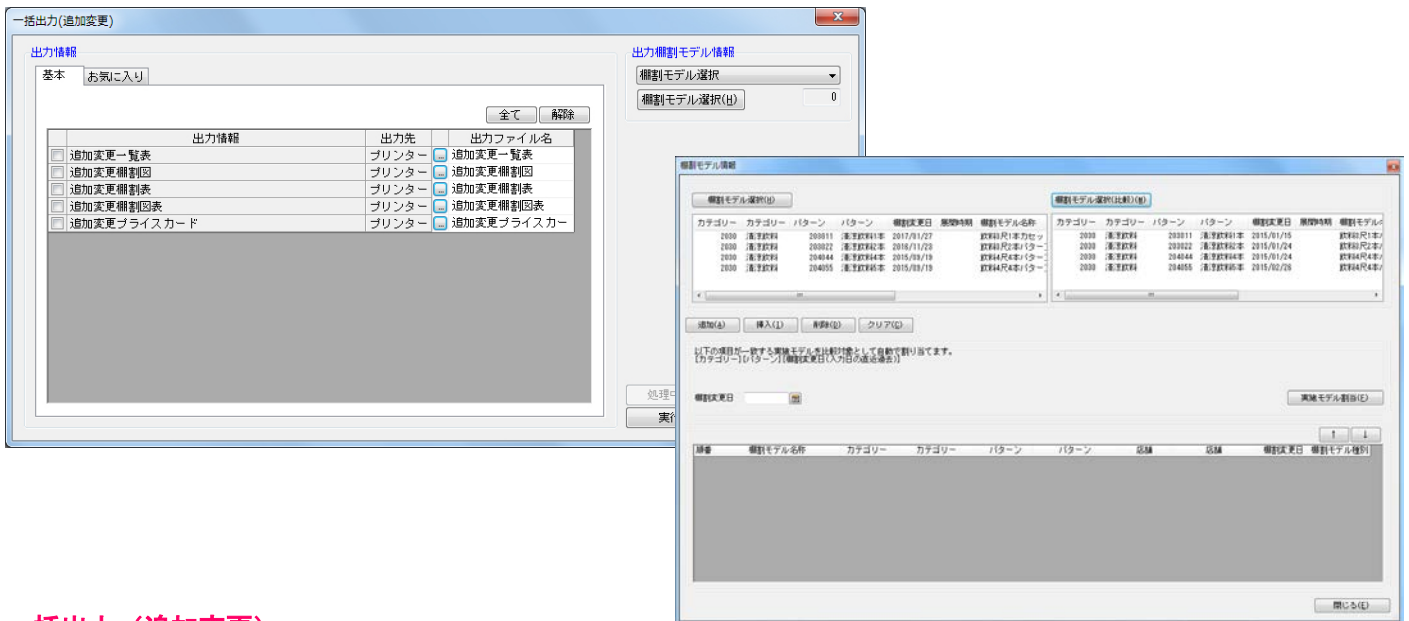
1. 「帳票作成」 - 「一括出力」をクリックします。
2. 「棚割モデル選択」より出力したい棚割モデルを選択します。
棚割モデルを開いている場合は、開いている棚割モデルを対象に複数種類の帳票をまとめて出力できます。
3. 「基本」もしくは「お気に入り」から出力したい帳票のチェックボックスを有効にします。
4. 各帳票、出力先の設定を行いません。出力先横のセレクトボタンをクリックして、設定画面を表示します。
5. 設定画面を「終了」で閉じます。
6. 「実行」をクリックします。

※異なる種類の棚割モデルを選択する場合には、手順2の「棚割モデル選択」を数回に分けて選びます。

例えば、実施モデルと提案モデルを出力対象にされる場合には1回目の棚割モデル選択で実施モデルを選択します。

2回目の棚割モデル選択で提案モデルを選択します。

(外部棚割モデルを出力対象にする場合にも同様の作業ができます)



一括出力 (追加変更)

1. 「帳票作成」 - 「一括出力 (追加変更)」をクリックします。
2. 「出力棚割モデル情報」で対象の棚割モデルを選択して、「閉じる」をクリックします。

棚割モデルを開いている場合は、開いている棚割モデルが基本棚割モデルとなります。

過去直近と比較する	「棚割モデル選択」で選択した実施モデルと、その直近過去の実施モデルを設定します。
棚割モデル選択	<p>方法 1</p> <p>「棚割モデル選択」より基本棚割モデル、「棚割モデル選択 (比較)」より比較する棚割モデルを選択します。各ウィンドウで、対にする棚割モデルと棚割モデル (比較) を選択し「追加」をクリックします。</p> <p>方法 2</p> <p>「棚割モデル選択」より基本棚割モデルを選択します。棚割変更日を入力して「実施モデル割当」をクリックすると、選択された基本棚割モデルに対して、カテゴリとパターンが一致する指定日直近過去の実施モデルを検索して自動的に組み合わせます。</p>

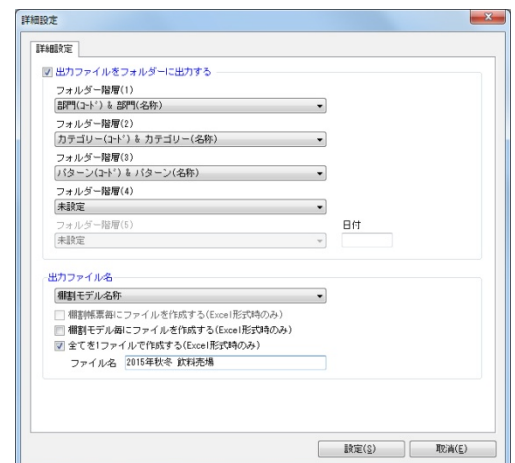
3. 「基本」もしくは「お気に入り」から出力したい帳票のチェックボックスを有効にします。
4. 各帳票、出力先の設定を行ないます。
出力先横のセレクトボタンをクリックして、設定画面を表示します。
5. 設定画面を「終了」で閉じます。
6. 「実行」をクリックします。

帳票の出力方法を設定する

複数種類の帳票を1つのExcelファイルにまとめる、または棚割モデルごとにExcelファイルに分けて出力することができます。
帳票の出力に関する細かい設定は「詳細設定」で行ないます。

複数種類の帳票を棚割モデルごとにExcelファイルで出力する

1. 「詳細設定」をクリックします。
2. 「出力ファイル名」のプルダウンメニューで「棚割モデル名称」または「パターン名称」を選択します。
3. 「棚割モデル毎にファイルを作成する」にチェックを付けます。
4. 「設定」をクリックします。



Excel 出力する各棚割モデル、各帳票の出力内容を1ファイルで出力する

1. 「詳細設定」をクリックします。
2. 「出力ファイル名」で「全てを1ファイルで作成する (Excel 形式時のみ)」にチェックを付けます。
3. 「ファイル名」にExcel ファイルの名称を入力します。
4. 「設定」をクリックします。

■ 特記事項

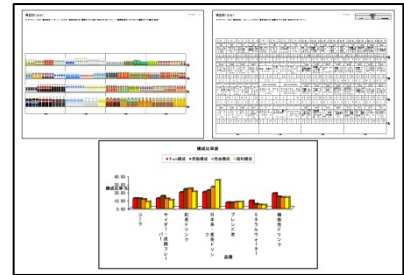
- 帳票の設定画面を [終了] や [×] ボタンで閉じる場合に「設定内容を保存しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると設定内容を保存します。

5-4 組み合わせた帳票を作成する

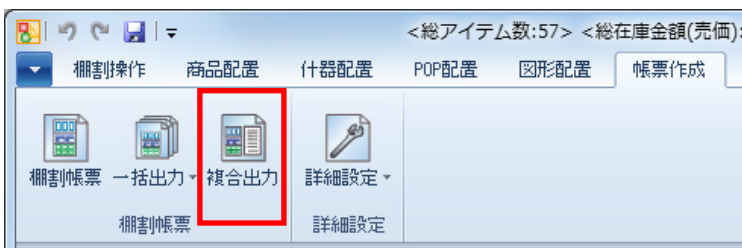
概要

帳票や3D表示、分析検証のグラフを組み合わせて、Excel または PowerPoint のファイルを作成できます。1ファイルに複数の情報をまとめることができるため、棚割管理の資料として活用できます。

一度作成した内容はお気に入りに設定保存できるため、次回作成時は棚割モデルを選択するだけで同じ内容のファイルを作成可能です。



起動方法



操作方法

新規でファイルを作成する

出力対象の棚割モデルを選択

1. [帳票作成] - [複合出力] をクリックします。
2. 設定方法の選択で「新規作成」を選択し、[次へ] をクリックします。
3. ファイル形式の選択で PowerPoint または Excel を選択して、[次へ] をクリックします。
4. 「棚割モデル選択 (基本)」で対象の棚割モデルを選択します。過去の棚割モデルや他店の棚割モデルと比較を行なう場合は、「棚割モデル選択 (比較)」から比較対象にする棚割モデルも選択します。

過去直近と比較する	選択している実施または店舗モデルの直近過去の実施または店舗モデルを設定します。
棚割モデル選択	[棚割モデル選択] から比較対象にする棚割モデルを選択します。

分析結果を出力するには、[分析設定] であらかじめ棚割モデルと売上情報の紐付けを行なう必要があります。

レイアウトの設定と出力

5. 出力したい内容によって、何枚レイアウトを作成するかを決めます。

[追加]	レイアウト数を追加します。
[挿入]	表示しているレイアウトの前に追加します。
[削除]	選択したレイアウトを削除します。

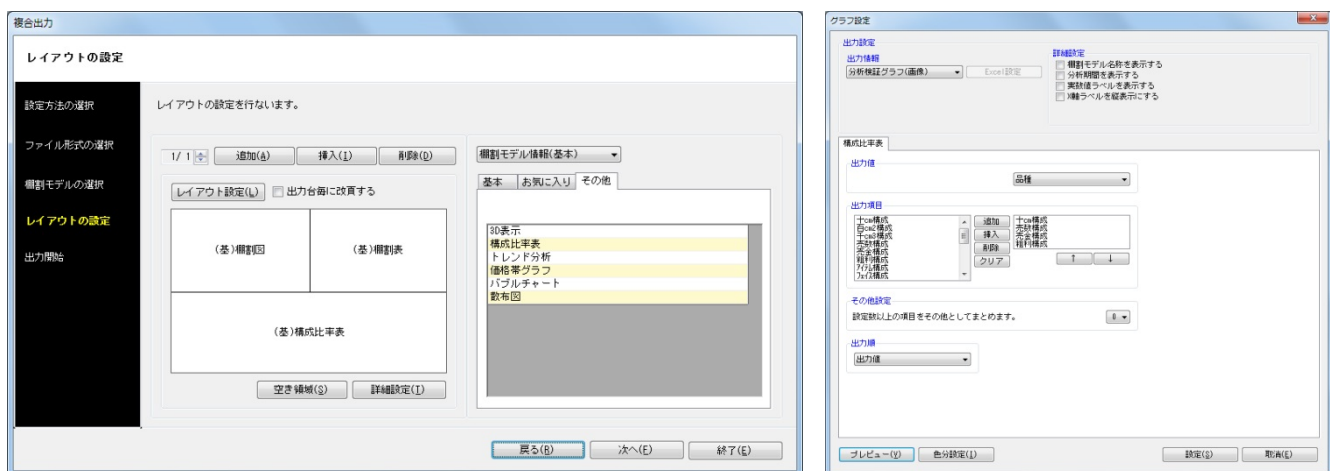
6. [レイアウト設定] をクリックします。
2分割から4分割まで、計8種類の中から希望のレイアウトを選択して [設定] をクリックします。
7. 出力する帳票やグラフを選択します。
レイアウト (空き領域) をクリックし、[基本] [お気に入り] [その他] タブから出力したい帳票や分析グラフをクリックします。比較対象にする棚割モデルをレイアウトに設定する場合は、ドロップダウンリストから「棚割モデル情報 (比較)」を先に選択します。
8. 各帳票、グラフの設定を行なう場合は、設定したい帳票類を選択後 [詳細設定] をクリックして設定画面を表示します。
9. [実行] をクリックし、任意の場所に名前を付けて保存します。

設定内容を保存する

1. 前ページ手順7の実行画面で「設定保存 (お気に入り)」をクリックします。
2. 名前を付けて「登録」をクリックします。

保存した設定内容でファイルを作成する

1. 「帳票作成」－「複合出力」をクリックします。
2. 設定方法の選択で「お気に入り」を選択し、一覧より使用したい設定を選択します。
3. 「次へ」をクリックします。
4. ファイル形式を選択し、「次へ」をクリックします。
5. 棚割モデルを選択し、「次へ」をクリックします。
6. レイアウト設定、その他詳細設定は設定保存の内容を反映しているため、確認後「次へ」をクリックします。
7. 「実行」をクリックし、任意の場所に名前を付けて保存します。



分析グラフを含めたファイルを作成する

帳票以外にも売上情報を用いた分析グラフを同時にファイル出力することができます。

1. 「帳票作成」－「複合出力」をクリックします。
2. 設定方法の選択で「新規作成」を選択し、「次へ」をクリックします。
3. ファイル形式を選択し、「次へ」をクリックします。
4. 棚割モデルを選択し、「次へ」をクリックします。
5. レイアウトの設定を行いません。レイアウト数とデザインを設定します。
6. レイアウト (空き領域) をクリックし、「その他」タブから確認をしたい分析グラフを選択します。
7. レイアウトを選択した状態で「詳細設定」をクリックします。
「グラフ設定」画面が表示されます。グラフの形式や出力値、出力項目などを設定し、「設定」をクリックします。
設定内容は選択している分析グラフによって異なります。詳細は7-3を参照してください。
3D表示の結果を出力したい場合は、「詳細設定」であらかじめ3D画像を保存しておく必要があります。(※)
8. 「実行」をクリックし、任意の場所に名前を付けて保存します。

特記事項

- 棚割モデルを開いている場合は、その棚割モデルが基本の棚割モデルとして設定されます。
 - PowerPoint や Excel ファイル形式で出力するには、PowerPoint や Excel がインストールされている必要があります。
 - Excel 形式で出力した場合はシート別に、PowerPoint 形式で出力した場合はスライド別に出力します。
- ※ 3D表示を出力する場合は、一度3D画像を作成する必要があります。
1. レイアウトに3D表示を選択し、「詳細設定」をクリックします。
 2. レイアウト設定を行ない、「3D表示」をクリックします。
 3. 3D表示実行後、「保存」をクリックします。

5-5 複数の棚割モデルを集計した帳票を作成する (星取表)

概要

星取表では、縦軸に商品一覧、横軸に棚割モデルの一覧を表示して、各パターンがどの商品を採用しているかを示す帳票を作成します。

店舗モデルの採用商品を確認する場合は「集計帳票 (店舗)」から星取表を出力します。

起動方法



操作方法



1. 棚割モデルを開いている場合は閉じます。
2. 「帳票作成」 - 「集計帳票」をクリックします。
3. 「集計帳票」画面の「基本」タブより「星取表」を選択して、「選択」をクリックします。
4. 「棚割モデル選択」から対象の棚割モデルを選択します。
「棚割モデル情報」画面の「↑」「↓」で棚割モデルの表示順序を変更できます。
5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力した項目を選択して「追加」をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して「↑」「↓」で変更します。
6. サブタイトルを設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して「実行」をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は「プレビュー」をクリックします。

※異なる種類の棚割モデルを選択する場合には、手順4の「棚割モデル選択」を数回に分けて選びます。
例えば、実施モデルと提案モデルを出力対象にされる場合には1回目の棚割モデル選択で実施モデルを選択します。
2回目の棚割モデル選択で提案モデルを選択します。
(外部棚割モデルを出力対象にする場合にも同様の作業ができます)

■ 特記事項

- 出力後に「終了」や「×」ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると設定内容を保存します。
- 「詳細設定」より出力時の細かな設定ができます。

印刷時、1つの明細出力に使用する行数を設定する	「明細使用行数 (画像/バーコード出力時は無視)」で行数を選択します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」を選択できます。
横軸に棚割モデル名称を表示する	「棚割モデルタイトル」で「棚割モデル名称」を選択します。

5-5 複数の棚割モデルを集計した帳票を作成する (追加変更集計表)

概要

追加変更集計表では棚割モデル同士を比較して、追加、削除、位置変更、フェイス数の変更といった変更情報を、陳列している商品の共通商品コードや商品名などと併せた表を作成できます。

変更内容	連番	共通商品コード	商品名	棚割モデル	フェイス数
追加	1	1801001000000	味の素	基本	1
追加	2	1801001000000	味の素	追加	1
追加	3	1801001000000	味の素	削除	1
追加	4	1801001000000	味の素	変更	1
追加	5	1801001000000	味の素	変更	1
追加	6	1801001000000	味の素	変更	1
追加	7	1801001000000	味の素	変更	1
追加	8	1801001000000	味の素	変更	1
追加	9	1801001000000	味の素	変更	1
追加	10	1801001000000	味の素	変更	1
追加	11	1801001000000	味の素	変更	1
追加	12	1801001000000	味の素	変更	1
追加	13	1801001000000	味の素	変更	1
追加	14	1801001000000	味の素	変更	1
追加	15	1801001000000	味の素	変更	1
追加	16	1801001000000	味の素	変更	1
追加	17	1801001000000	味の素	変更	1
追加	18	1801001000000	味の素	変更	1
追加	19	1801001000000	味の素	変更	1
追加	20	1801001000000	味の素	変更	1
追加	21	1801001000000	味の素	変更	1
追加	22	1801001000000	味の素	変更	1
追加	23	1801001000000	味の素	変更	1
追加	24	1801001000000	味の素	変更	1
追加	25	1801001000000	味の素	変更	1
追加	26	1801001000000	味の素	変更	1
追加	27	1801001000000	味の素	変更	1
追加	28	1801001000000	味の素	変更	1
追加	29	1801001000000	味の素	変更	1
追加	30	1801001000000	味の素	変更	1

起動方法



操作方法



1. 棚割モデルを開いている場合は閉じます。
2. [帳票作成] - [集計帳票] をクリックします。
3. 「集計帳票」画面の[基本]タブより「追加変更集計表」を選択して、[選択]をクリックします。
4. 「出力棚割モデル情報」で対象の棚割モデルを選択し、[閉じる]をクリックします。

過去直近と比較する	[棚割モデル選択] で選択した実施モデルと、その直近過去の実施モデルを設定します。
棚割モデル選択	<p>方法 1</p> <p>[棚割モデル選択] より基本棚割モデル、[棚割モデル選択 (比較)] より比較する棚割モデルを選択します。各ウィンドウで、対にする棚割モデルと棚割モデル (比較) を選択し [追加] をクリックします。</p> <p>方法 2</p> <p>[棚割モデル選択] より基本棚割モデルを選択します。</p> <p>棚割変更日を入力して[実施モデル割当]をクリックすると、選択された基本棚割モデルに対して、カテゴリとパターンが一致する指定日直近過去の実施モデルを検索して自動的に組み合わせます。</p>

5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して [追加] をクリック、またはダブルクリックし

ます。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。

出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。

6. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

■ 特記事項

- 出力後に [終了] や [×] ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、[はい] を選択すると設定内容を保存します。
- [詳細設定] より出力時の細かな設定ができます。

変更内容の凡例を出力する	「オプション設定」内の「変更項目凡例を出力する」を有効にします。
出力対象にする変更内容を設定する	「変更内容」で確認したい変更内容を有効にします。
印刷時、1つの明細出力に使用する行数を設定する	「明細使用行数 (画像/バーコード出力時は無視)」で行数を選択します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」を選択できます。
横軸に棚割モデル名称を表示する	「棚割モデルタイトル」で「棚割モデル名称」を選択します。
追加商品、削除商品の一覧を出力する	[明細一覧出力] タブの「明細一覧出力」で追加リストや削除リストを有効にします。

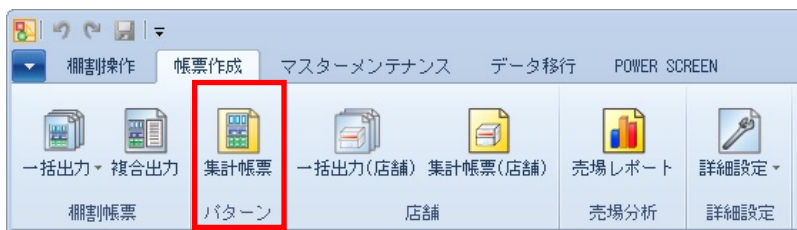
5-5 複数の棚割モデルを集計した帳票を作成する（未登録商品一覧表）

概要

未登録商品一覧表では、複数の棚割モデルを指定して、陳列しているダミー商品、未登録商品のみ抽出して一覧表形式で出力できます。

棚割モデル名称	共通商品コード	商品名	商品サイズ
棚割モデルA	0000000001	商品名A	商品サイズA
棚割モデルB	0000000002	商品名B	商品サイズB
棚割モデルC	0000000003	商品名C	商品サイズC
棚割モデルD	0000000004	商品名D	商品サイズD
棚割モデルE	0000000005	商品名E	商品サイズE
棚割モデルF	0000000006	商品名F	商品サイズF
棚割モデルG	0000000007	商品名G	商品サイズG
棚割モデルH	0000000008	商品名H	商品サイズH
棚割モデルI	0000000009	商品名I	商品サイズI
棚割モデルJ	0000000010	商品名J	商品サイズJ

起動方法



操作方法



1. 棚割モデルを開いている場合は閉じます。
2. [帳票作成] - [集計帳票] をクリックします。
3. 「集計帳票」画面の[基本]タブより「未登録商品一覧表」を選択して、[選択] をクリックします。
4. [棚割モデル選択] から対象の棚割モデルを選択します。
5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して [追加] をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。
6. タイトル（メイン/サブ）を設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

※異なる種別の棚割モデルを選択する場合には、手順4の「棚割モデル選択」を数回に分けて選びます。
例えば、実施モデルと提案モデルを出力対象にされる場合には1回目の棚割モデル選択で実施モデルを選択します。
2回目の棚割モデル選択で提案モデルを選択します。
(外部棚割モデルを出力対象にさせる場合にも同様の作業ができます)

■ 特記事項

- 出力後に「終了」や「×」ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると設定内容を保存します。
- 「詳細設定」より出力時の細かな設定ができます。

同一商品をまとめて出力する	同一商品が複数存在した場合に1明細にまとめて出力します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」を選択できます。

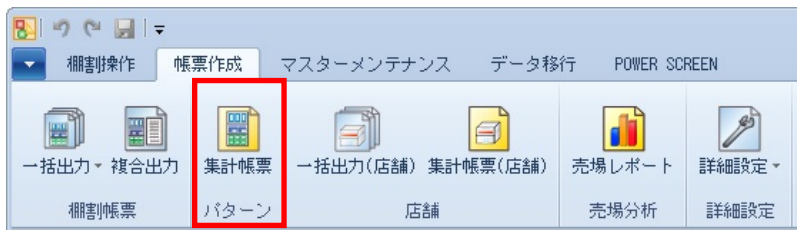
5-5 複数の棚割モデルを集計した帳票を作成する (棚割モデル集計表)

概要

複数の棚割モデルを棚割モデル単位で集計して、選択した棚割モデルのそれぞれの総アイテム数やフェイス数、売上金額などを一覧形式で出力できます。

棚割モデル名	アイテム数	フェイス数	売上金額	売上数	売上単価	売上比率	売上変動	売上変動率
棚割モデルA	100	200	10000	1000	10000	10%	10000	100%
棚割モデルB	200	400	20000	2000	20000	20%	20000	200%
棚割モデルC	300	600	30000	3000	30000	30%	30000	300%
棚割モデルD	400	800	40000	4000	40000	40%	40000	400%
棚割モデルE	500	1000	50000	5000	50000	50%	50000	500%
棚割モデルF	600	1200	60000	6000	60000	60%	60000	600%
棚割モデルG	700	1400	70000	7000	70000	70%	70000	700%
棚割モデルH	800	1600	80000	8000	80000	80%	80000	800%
棚割モデルI	900	1800	90000	9000	90000	90%	90000	900%
棚割モデルJ	1000	2000	100000	10000	100000	100%	100000	1000%

起動方法



操作方法



1. 棚割モデルを開いている場合は閉じます。
2. [帳票作成] - [集計帳票] をクリックします。
3. 「集計帳票」画面の [基本] タブより「棚割モデル集計表」を選択して、[選択] をクリックします。
4. [棚割モデル選択] から対象の棚割モデルを選択します。
5. 出力する項目を選択します。選択可能項目から出力したい項目を選択して [追加] をクリック、またはダブルクリックします。Ctrl キーや Shift キーで範囲選択や複数選択が可能です。
出力する項目の順番を変更したい場合は、順番を変更したい項目を選択して [↑] [↓] で変更します。
6. タイトル (メイン/サブ) を設定します。
7. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。
出力時のプレビュー画面を確認する場合は [プレビュー] をクリックします。

※異なる種別の棚割モデルを選択する場合には、手順4の「棚割モデル選択」を数回に分けて選びます。
例えば、実施モデルと提案モデルを出力対象にされる場合には1回目の棚割モデル選択で実施モデルを選択します。
2回目の棚割モデル選択で提案モデルを選択します。
(外部棚割モデルを出力対象にさせる場合にも同様の作業ができます)

■ 特記事項

- 出力後に「終了」や「×」ボタンで画面を閉じる場合に「今回の設定内容を次回にも適用しますか」と確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると設定内容を保存します。
- 「詳細設定」より出力時の細かな設定ができます。

印刷時、1つの明細出力に使用する行数を設定する	「明細使用行数（画像/バーコード出力時は無視）」で行数を選択します。
明細の出力順を変更する	「明細出力順」で出力順の基準となる項目、「昇順」「降順」を選択できます。